

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	✓		ラボ：人数や利用児の大きさに合わせて機能訓練室、みんなの部屋で分けて使用している。 第二訓練室：人数に合わせて都度場所の指定などを行い実施している。 ・スタッフの立ち位置で、死角が無くなるようにしている。	
	2	職員の配置数は適切であるか	✓		利用者の支援を職員1人に対して1～3人の担当制にしている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	✓		台所の入り口に段差があるが、段差注意の表記をしている。また、基本的には台所には、利用児のみ入る事はなく、スタッフと一緒にいる為、配慮している。	階段はスタッフが手をつなぐか利用者に手すりを持たせるなどして昇降し、上り時は最後尾、下り時は最前列で、転落を防止している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	✓		・何か生じた場合は、情報収集を行い、どこに問題があったのか、今後どのようにすべきかを話し合い、改善に取り組んでいる。 ・朝礼ノートを使用して、職員同士での情報の共有を行っている。	こっしー・ラボ間では情報の共有は行われるが、支援のすり合わせをする機会が少ないので、支援について定期的なすり合わせを実施する。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	✓		年1回の保護者へのアンケートの実施、スタッフの自己評価を基に業務改善の対策等話し合いを行っている。	・下校時間によって、配車の調整を行う事を検討する。 ・外出やクッキング等のプログラムにおいては、感染症対策を行い、感染リスクが高まる事も周知した上で、プログラムを中止せずに済むよう工夫する。 ・おやこっしー（研修・座談会・保護者主催の企画）、OG・OB会等の企画を検討する。 ・体育館等を使用するプログラムを検討。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	✓		当社のホームページにて公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	✓		・実地指導の助言を基に、業務改善に繋げる。 ・外部から講師を招いての研修や事業所間での研修・グループワーク等を行っている。	外部からの見学者を受け入れる。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	✓		・資質向上研修を年に7回～10回行い、専門知識・支援スキルの向上に努めている。 ・外部の研修にも積極的に参加している。 ・新人育成プログラムを実施している。 ・事業所内の実践研修に取り組んでいる。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	✓		・NCプログラムやVineland IIなど標準化されたアセスメントを取ったり、保護者からの聞き取りや利用児からの聞き取りを行っている。 ・個々の成長段階にあった支援計画を作成している。	お便り帳やメール・電話等で保護者からの相談内容があった場合には、その都度対応している。また、お便り帳に書いてある相談等は送迎時や別途確認を取っている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	✓		NCプログラム、vineland II・障がい特性シート等を毎年更新し、評価を行ったうえで支援計画を作成し、支援にあたっている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	✓		年間での活動プログラムをユニット会議で立案し、月毎に振り分けるようにした。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	✓		年間での活動プログラムをユニット会議で立案し、月毎に振り分けるようにした。	・ユニット会議の際に、活動プログラムがないように検討し、取りれて行きたい。 ・ラボとこっしー全体でいく事は難しい場合でも、ラボのみやハックのみで行く活動を入れる。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	✓		・平日と終日で分けてプログラムを組んでいる。 ・支援計画に合わせた内容の自立課題やプログラム、余暇の提供、個別の課題に取り組んでいる。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	✓		・利用者の発達段階に応じた社会性・学習・運動機能の向上を目指し、個別活動と集団活動を毎回組み合わせ実施している。 ・NCプログラムやデンバー、Vineland II等の発達段階を参考に、1人1人に合った支援計画を作成している。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
供	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	✓		<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝礼、朝礼後の打ち合わせにて確認を行っている。</li> <li>・朝礼にて事業所全体で、利用児についての引継ぎや送迎の打ち合わせを細かく行っている。</li> <li>・朝礼後に各事業所で、当日の配置や配慮事項を打ち合わせしている。</li> <li>・外出行事やクッキング、避難訓練等のプログラムは計画書を事前に作成し打ち合わせをしたうえで取り組んでいる。</li> </ul>	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	✓		<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援中に気になった事や支援内容で不明点があった時には、児童発達支援管理責任者や他のスタッフに相談し、一貫性のある支援をするようにしている。</li> <li>・当日のフィードバックが難しい場合、パート職員に対して、支援で気になった事、分からなかった事を記載するノートを準備しており、そこに記入し後日助言するようにしている。</li> </ul>	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	✓		<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援計画に沿った内容を記録している。計画内容以外にも気になった点を「生活社会性」「学習」「運動」面に分けて記録している。</li> <li>・気になる事項については、前回の記録をもとに支援を検討して取り組んでいる。</li> </ul>	
関係機関や保護者との連携	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	✓		<ul style="list-style-type: none"> <li>・半年に1度モニタリング面談を実施している。</li> <li>・個別支援計画に沿った内容や発達段階や標準のアセスメントツールを使用し計画の見直しの検討をしている。</li> </ul>	相談があった場合は、対応している。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	✓		毎年4月にガイドラインの読み合わせを行い、内容を把握したうえで取り組んでいる。	
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	✓		児童発達支援管理責任者、または対象の利用者に最も精通した担当者がサービス担当者会議に参画している。	
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	✓		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい学校に対しては、利用前に学校の送迎ルールを確認しそれに従って対応をしている。</li> <li>・送迎時間等は保護者に協力してもらっている。</li> </ul>	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		✓		医療的ケアが必要な利用者がいない為、現在は行っていないが、必要になれば連絡体制を整えていく。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	✓		先方からの引き継ぎシートを活用している。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	✓		学校卒業だけでなく、転居の際にもサポートブックを作成し、情報を提供している。	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	✓		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナにより実施できていないが、定期研修への参加に加え、毎年機関コンサルテーションを受けたりネットワーク会議に参加している。</li> <li>・第一基幹や児童相談所と連携を取って、必要に応じて支援会議に参加している。</li> </ul>	
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	✓		コロナの感染者数が落ち着いている時期には、地域の公園に行き、近所の子ども達と一緒に遊ぶ事がある。	感染症対策をしたうえで、児童館での活動を再開したい。
	27 （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	✓		自立支援協議会が開催している研修や会議に参加している。	今後も会議への参加要望があれば積極的に参加していきたい。
28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	✓		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所内での様子が分かりやすいように、お便り帳メールには活動時の写真を添付している。</li> <li>・モニタリング面談の際には、事業所での様子また学校での学習課題や家庭での様子等情報交換し、課題を共通理解した上で取り組んでいる。</li> </ul>	支援計画に家庭連携支援、事業所内相談支援を追加し、必要に応じて実施出来るようにした。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	✓		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアレントトレーニングや構造化等の研修への参加を促したり、必要に応じて資料を渡している。</li> <li>・保護者の要望や相談に合わせて、ペアレントトレーニングや構造化、ABA等の理論に基づいた助言を行い、支援に関する資料を渡している。</li> </ul>	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	✓		管理者が説明を行っている。問い合わせがあった場合は、管理者、担当者が説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	✓		<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタリング面談に加え、子どもについての悩みなどが報告があった場合には、解決方法を提示し、共に模索している。</li> <li>・家庭での悩みに関する相談などは送迎時やおたより帳、個別メールなどで受けた際はその都度助言をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて、家庭連携支援、事業所内相談支援を実施していきたい。</li> <li>・代替サービス等の聞き取りを通じて、悩みや相談に応じていきたい。</li> </ul>
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	✓		「おやこっしー」という形でオンラインを活用して取り組んでいる。	保護者の直接的な関わりは少ない為、保護者主催の取り組みを行ったり、テーマを決めての座談会等を検討する。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	✓		<ul style="list-style-type: none"> <li>・すぐに管理者へ報告し、適切に対応している。また、職員間で共有し改善している。</li> <li>・必要に応じてフローチャートを使用しスタッフ間で共通の動きが出来るようにしている。</li> </ul>	
	34	定期的な会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	✓		<ul style="list-style-type: none"> <li>・不定期ではあるがHPやFacebookにて情報を発信している。</li> <li>・お便り帳メールにて出来る範囲で写真で様子を伝えている。</li> </ul>	Facebook以外にも他のSNSの活用も検討している。
非常時等の対応	35	個人情報に十分注意しているか	✓		<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の名前を共有する場合は、伏字にして行う事を徹底している。</li> <li>・個人情報が記載された書類は、鍵付きキャビネットに保管し、処分する際は必ずシュレッダーにかけている。</li> </ul>	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	✓		<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者に関しては絵カードなどを使用して意思の疎通を図っている。保護者に関しては送迎時やおたより帳、メールなどで情報を伝えている。</li> <li>・保護者と連携をとり、コミュニケーションツールと使い方を家庭にも提供・指導している。</li> </ul>	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	✓		毎月地域清掃活動や長期休みの際に地域交流の形で作った作品をプレゼント近くの行っている。	夏祭りやクリスマス会に地域住民を招待することも検討中。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	✓		<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアル改定の際には、職員間で周知している。</li> <li>・子ども未来局から感染症等の情報が来た場合には、保護者にも周知している。</li> <li>・感染症対策については、施設内の清掃、手指消毒、検温、次亜塩素酸による消毒、マスク着用と徹底した対策をとっている。</li> <li>・定期的な抗原検査を実施している。</li> </ul>	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	✓		<ul style="list-style-type: none"> <li>・2か月に一度、地震、火災、水害を想定した利用児を含めての避難訓練、年に一度、防災センターでの避難訓練と防災指導、年に一度職員のみの大規模避難訓練を行っている。</li> <li>・夏前には水害の避難訓練を行う等、時期に合わせて事前に取り組んでい・危機管理・防災年間計画を立て、避難訓練や計画の見直しを行っている。</li> <li>・避難訓練後はフィードバックを行い、改善点を話し合い今後の対策に生かしている。</li> <li>・年に一度、福岡市の防災担当者を招聘し、職員・保護者に対する防災教室を実施している。</li> <li>・災害等のマニュアル改定を1年に1度行っており、その前にどのように改定するかの会議を行っている。</li> </ul>	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	✓		虐待防止委員会を設置し、年に1回虐待防止会議と研修を行い、対応やチェックシートで振り返りを行っている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	✓		やむを得ない場合身体拘束が必要な場合がある利用児に関しては、個別支援計画に記載をし保護者の了承を得ていた。	万が一やむを得ず身体拘束を行う場合は、切迫性、非代替性、一時性の3つの要件が満たされている事を必ず確認するよう、職員への周知徹底を行う。
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	✓		<ul style="list-style-type: none"> <li>・アレルギー表を作成するとともに、おやつ提供に関して、保護者に確認を取っている。</li> <li>・おやつ表にもアレルギーのある子を書き出し、代替品を提供している。</li> </ul>	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	✓		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハット報告書を作成し、事業所間で共有している。</li> <li>・朝礼にて情報共有を行っている。</li> <li>・フローチャートを作成し、経過観察から完了まで確実にを行うようにしている。</li> </ul>	